

みんなで子育て No.10

バックナンバーは
こちらから▶



環境エネルギー生活部 県民生活課
家庭教育推進専門職 : 辻
Tel 058-272-8206



「睦月（むつき）」は、1月の和風月名です。和風月名には、日本の豊かな自然と人々の暮らし、文化や信仰が深く関係していると言われます。

「睦月」には諸説ありますが、お正月に家族や親族が集まって、仲睦まじく過ごすことから「睦び月（むつびつき）」と呼ばれ、それが略されたという説が最も有力とされています。

「睦」が使われる言葉に「親睦」「和睦」「睦言」「睦まじい」「睦まやか」「睦み合う」等があります。いずれも「仲良くする」という意味やそのような様を表す言葉になります。「睦」は、温かな人間関係を築く力をもつ漢字なので、子どもの名前にもよく使われますね。

タイトル右横のイラストに今回は「福寿草」を選んでみました。福寿草は、1月に花を咲かせる植物で、花言葉は「幸せを招く」「永遠の幸福」です。家族みんなの仲がよいということは、幸福そのもののようによろしくありますが、皆様はどのようなお正月を過ごされたのでしょうか。

福寿草は、美しい見た目とは裏腹に、根や茎、花、葉など植物全体に強い毒を含んでいますので、取り扱いには十分な注意が必要です。ご承知おください。

山県市立伊自良中学校

「情報モラル教室」

10月20日（月）

講師 : 子ども・女性政策課 青少年係



5時間目の授業参観の後、全校生徒とその保護者で情報モラルについて、「県職員出前トーク」を活用し学びました。

内容は、①どのように、どれだけ使っている？ ②使いすぎるとどうなるの？ ③身近に起きるネットトラブル ④ネットと上手に付き合おう の4つについてお話がありました。

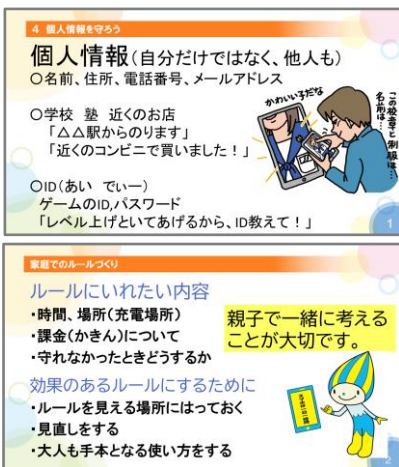
<お話の要点（抜粋）>

- ・インターネットの使用時間、10人中4人が3時間以上利用。
- ・家庭でのルール作りは約7割。3割が使い方を決めていない。
- ・10人中3～4人が、ネット依存傾向にある。
- ・平日3時間、休日5時間利用すると年間で1335時間となり、中学生の年間授業時数の1050時間を上回る。
- ・ネットトラブル件数、近年、中学生が高校生を上回る。
- ・被害者のうちの約9割が、フィルタリングが未設定。
- ・一度、ネット上に流出した画像や動画は、世界中に拡散。デジタルタトゥーとして一生消えない。
- ・困った場合は、身近な信頼できる大人に相談！

<セクストーション> 若者の間での被害が拡大中！

「Sex（性）」とExtortion（脅迫）」を合わせた造語で、「性的なゆすり、脅し」を意味する言葉。

性的な画像や動画を送らせ、それをネタに金銭を脅し取る。



保護者の声

- ・スマートフォン利用のルールは作ってはいますが、使用時間についてはほぼ守れていない状態です。就寝時刻も0時を過ぎることが多いので、今日のお話を機会に、本人に考えさせようと思います。
- ・使用については、本人に任せています。購入時にフィルタリングの設定はしてありますが、自分で解除している可能性があるため、今日、確認したいと思っています。最近、知らない番号からの電話が多数あり、出ないようにとは言っていますが、とても心配しています。
- ・高校生の上の子が自由に使っているため、下の子も同様になっています。上の子が危ない経験をしたことがあったので、基本的なマナーを守って正しく使っているとは思っています。

羽島市立正木小学校 「歯みがき教室」 10月22日(水)

講師 : 岐阜県歯科衛生士会 羽島支部の3名



正木小学校では、1年生の授業参観に、歯科衛生士を招いて「歯みがき教室」を実施しました。講話の途中で行う2つのワーク〔①第1大臼歯(6歳臼歯)の確認 ②歯垢染色液によるみがき残し箇所の確認と記録〕は、親子で行いました。

近年、6年生の半分の児童には、むし歯が1本もないそうで、歯の健康に対する意識の高まりと各種手立ての成果であるそうです。

第1大臼歯は、6歳ごろ生えてくる大人の歯で、永久歯の中で一番大きく、噛む力が強く、噛み合わせの基となる最も大切な歯であるため、「歯の王様」と呼ばれていると説明がありました。

歯は、体の中で一番硬いつくりをしています。内部は柔らかいことや生え始めの頃はすこし軟らかいため、永久歯が生えてくるこの時期は、特に注意が必要だそうです。みがき残しの注意ポイントとその汚れを落とすみがき方を教えていただき、正しい歯のみがき方の技能を習得しました。

保護者の声

- ・仕上げみがきはしています。今日、教えていただいたことを意識して、時間をかけてゆっくりとみがいてあげたいと思います。
- ・面白おかしく、子どもにも分かりやすく教えていただけてとても良かったです。夜は仕上げみがきをしています。朝は本人に任せているため、横の方に少し汚れがありました。声をかけたいと思います。4年生までは親の仕上げみがきが必要だと何かで読んだので、続けたいと思います。
- ・仕上げみがきの方法については、あまり意識していませんでした。大人の歯を大切にしたいので、今日、学んだ方法を実践したいと思います。
- ・親子で一緒に学べて良かったです。歯みがきの方法については少しやり足りないところがあったので、最後までしっかりやってあげないといけないなあと思いました。

岐阜市立岐北中学校 「人権教育」 10月23日(木)

講師 : 岐阜市人権講師 舟橋 和宏 氏



〇〇が笑顔になるためには…

- ① 〇〇が、笑顔になれないわけを考える
- ② 〇〇が、笑顔になるための作戦を考える
- ③ 考えた作戦を実施する
- ④ ダメだったら、次の作戦を考え、実施する

1年生の「生き方学習」として舟橋氏をお招きし、人権の啓発活動強調事項の一つである「障がいのある人の人格」について学びました。

岐阜県では17年前に、「害」という文字がもつ否定的なイメージを和らげるために、「障がい」と表記するようになったこと。「障がいをもつ」ではなく「障がいのある」と表現することで、みんなの問題、社会の問題として捉えられるようになったことについて説明がありました。

また、障がいの種類、その対象を表すピクトグラムの意味について教えていただきました。



講話の後半では、足・手・口が不自由になったAさんが紹介され、Aさんの気持ちを表す顔絵文字を描き、相手の立場になって気持ちを考える学習が行われ、考えを交流しました。

最後に、以前の生活に戻れず、とても辛い思いをしたはずのAさんを「笑顔」にした方法についてお話があり、みんなが笑顔でいられる共生社会の実現に向けての講話をまとめられました。

参加者の声

- ・最後のキーワード「笑顔」。あたりまえの言葉だけど、誰もが笑顔でいられるようにするためには、いろいろなもの(思い、行動、願いなど)が必要なんだなあと思いました。(生徒)
- ・今日の講話をもとに、障がいのある人に対して、どんなふうに関わってくれるかなあ、ふつうに関われる子になってくれることを期待しています。
- ・障がい者となられた友だちが「笑顔」になれるようにと、動いてみえる点がすごいと思いました。もし自分だったら、その友だちに会いに行くことができるかな? 引いてしまうかもしれないなあと考えさせられました。
- ・車椅子マークとクローバーマークの違いを知り、乗車しているのと運転しているのでは大きな違いがあるので、今後、車を運転するときには気を付けたいと思いました。

講師： 県民生活課 生涯学習係（家庭教育担当）



山県市教委を介して、サイエンス・ショーの講師の照会が県民生活課にありました。岐阜地区の家庭教育を担当している2名が理科教諭の資格を有しているため、2名で良ければ可能であることを伝え、講師を務めました。

家庭教育学級として、春には柔術整体師を招いて「体の動かし方」について学ばれたそうです。この日は「1日保育参観の日」で、午前「サイエンス・ショー」、午後「親子でアップルパン作り」を、園とともに計画されました。

子どもたちは、親さんの膝の上に座り、時には実験に参加しながら、「消える水」「いろいろな色に変化する水」「早く落下するシャボン玉・上昇するシャボン玉」「紙コップロケット」「乗っても潰れない紙コップ」「下敷きで持ち上げてみよう」等の不思議な事象を楽しみました。

100円ショップ等で購入可能な物品や家にある物を使って、簡単に再現可能な実験や事象が多く、家庭でも親子で挑戦できるように工夫されていました。役に立たない教科で上位に選ばれる「理科」ですが、不思議な事象に触れることは、子どもたちの好奇心や探究心を育てるには大切なことだと考えます。

参加者の声

- ・いつもはあまり前に出たがらない子ですが、今日は、自分から手を挙げて「やりたい！」と実験に参加する姿を見て、すごくうれしかったです。家でもいろいろやってみようと思いました。
- ・子どもが楽しくて興奮していました。なかなか科学を学べる機会がないので、子どもたちにとってよい機会となったと思います。
- ・丸めた紙が、スーパーボールと同時に落下するのにはびっくりしました。また、磁石がアルミパイプの中を通るとなかなか落ちてこないのが不思議でした。自分の目で磁石がゆっくり落ちていく様子を確認しましたが、やはり不思議です。
- ・火を近づけたら、バーンと紙コップが飛んだのがおもしろかったです。（園児）

よつば保育園ぎなん「就園前の子どもの大切なこと」 11月29日（土）

講師： 県民生活課 家庭教育推進専門職

昨年に引き続き、保育士と保護者の合同家庭教育学級を開催されました。「三つ子の魂、百まで」と言いますが、生後から就園前までの期間の親・大人との関わりや生活環境が、その子の人生に大きな影響を与えられます。また、愛着形成が完了するのが2歳から3歳頃であり、この期間に形成された愛着は、子どもの将来の人間関係の基盤となると説明がありました。子どもが甘えてきた時は、それに応えてあげて、子どもの「安心感」を確保することが大切であり、親（保育士）が自分の感情と表情を乳幼児の感情に合わせる（情動調律）ことが安心感につながるため、子どもの様子をよく観察してあげてほしいとお話がありました。

保護者の声

- ・子育てに悩んでいる時期だったので参考になりました。子どもが好きな事ややりたい事をとことんやらせてあげたいなと思いました。自信がもてるものを何か1つでももてるようにしてあげたいです。
- ・イヤイヤ期の対応が具体的に知ることができてよかったです。自分の価値観は少し横に置いておいて、子どもを1人の個としてみていけたらいいなと思いました。
- ・理想の母親像で「こうしなければならない」など、自分に当てはまるが多かったです。子どもに詰め込み過ぎてはいけないことなど考えさせられました。子どもの成長を見通す発達心理学について、自分なりに学びたいと思いました。
- ・子どもの興味のある事に、大人がアンテナを張って、否定せずにやらせてあげたいなと感じました。子どもとの会話や関わり、ふれあいを大切にしようと思います。



「脳幹を育てるために大切な2つの環境」

親子の温かな関わり

- ・抱っこする
- ・からだを触ってあげる
- ・穏やかに話しかける
- ・笑顔で目をあわせる

刺激の豊かな環境

- ・自然の音を聞く（風・鳥の声）
- ・太陽の光を浴びる
- ・やさしい音楽が流れる
- ・家族の声を聞く、話しかけられる
- ・手や目を使った遊びをする

脳幹を育てることが「感情」や「知性」を司る大脳の発達の主軸となる

「災害」への備えはできていますか!? 親子で学べる動画を紹介します!

岐阜県では、県民に自らの命を守るための知識と行動を学んでいただくため、防災啓発番組「進め! 防災探検隊」を制作しています。家族みんなで視聴してみてください!



<2025>

- ・第1回 風水害への備えと避難 編
- ・第2回 災害時の生活 編

<2024>

- ・第1回 豪雨災害! 命を守るために 編
- ・第2回 地震災害! 私たちに必要な備え 編

<2023>

- ・第1回 大雨から命を守るためには 編
- ・特番 岐阜県で発生しやすい災害やその特性を知る
- ・第3回 地震から暮らしを守るには 編



「防災・危機管理e-カレッジ」は、地域の防災力を強化するための施策の1つとして、インターネット上で防災・危機管理に関する学びの場を提供する目的で、総務省消防庁が作成したものです。「こども向け(幼年~小学生を対象)」 「一般の方向け」が準備されており、動画を見ながら学ぶことができるように作られています。クイズ形式の動画となっており、家族で災害や身を守る方法などについて、ゲーム感覚で考えることができます。こちらも、在宅型の取組の1つとして利用できそうです。

災害ごとの対策を確認しておきましょう!

台風や洪水のような災害はある程度、事前に予測することができますが、地震や火山噴火などは昼夜を問わず突然やってきます。日頃より起こりうる災害毎に、実際どのような状況が起こりうるかを想定・イメージして対策を立てておくことが大切です。

災害対策として、家庭・家族でできることは大きく分けて「災害発生時に命を守るための対策」と「被災後の生活のための対策」の2つになります。どちらも大切なことですが、前者が最優先となります。家族みんなでよく話し合っておきましょう。また、自分1人でも命を守る行動できるように、何度も繰り返しイメージトレーニングしたり、模擬体験(練習)しておくことが大切になります!

避難情報の入手方法を確認しておきましょう!

「避難指示」の目的は、生命保護と被害の拡大防止です。以前は「避難勧告」と「避難指示」の2つの避難情報があり、どちらが上位か分かりにくいという問題がありました。このため、令和3年5月に施行された「改正災害対策基本法」により、「避難勧告」は廃止され「避難指示」に一本化しています。

避難の対象となる災害と行動避難指示の対象となる災害は、洪水、土砂災害、高潮、津波などになります。

<災害の種類>

- ・大雨、洪水
- ・土砂災害
- ・台風
- ・竜巻
- ・高潮
- ・地震
- ・津波
- ・火山噴火
- ・大雪、雪崩
- ・熱波、干ばつ
- ・落雷
- ・火事
- ・爆発事故
- ・原発事故
- ・有害物質流出事故等

避難情報等と居住者等がとるべき行動(避難レベルの詳細)

警戒レベル	状 況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保
< 警戒レベル4までに必ず避難! >			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報